audio-technica

AT-SP3X

パワードブックシェルフスピーカー

取扱説明書

Japanese

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠ 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本製品について

⚠ 警告

- **心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内の位置では使用しない**
  ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
- **本製品を医療機器の近くで使用しない**
  電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- **自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
  電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない**
  異常に気付いたらすぐに使用を中止して、ACアダプターから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- **火気に近づけない／火の付いたキャンドルなどを上に置かない**
  火災の原因になります。
- **分解や改造はしない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電によるけがの恐れがあります。
- **水をかけない／水滴や水しぶきのかかる場所に置かない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **じゅうたんや布などで覆わない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない**
  事故や火災の原因になります。

⚠ 注意

- **大音量で耳を刺激しない**
  耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- **不安定な場所に置かない**
  本製品の落下などにより、けがや故障の原因になります。
- **換気の良い場所に置く**
  本製品を換気の悪い場所に置くと、熱がこもり、火災など事故の原因になります。ラックなどに入れるときは、放熱をよくするために本製品の周りに隙間を空けてください。

	• **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない** 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。また、故障、不具合の原因になります。 • **本製品の上に物（花瓶・植木鉢・水の入ったコップ・金属など）を置かない** 万一、倒れた場合、感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 • **ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない** 変形、故障の原因になります。

ACアダプターについて

⚠ 警告	• **表示している電源電圧以外で使用しない** 過熱による火災など事故の原因になります。 • **本製品以外には使用しない** 過熱による火災など事故の原因になります。 • **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない** 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店に連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。 • **コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない** 過熱による火災など事故の原因になります。 • **コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む** 過熱による火災など事故の原因になります。 • **コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする** 断線、故障の原因になります。 • **コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない** 断線、故障の原因になります。 • **ACアダプターに水分や異物がついた状態で接続しない** 腐食・発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。 • **ACアダプターの端子が曲がっていたり、差し込みが緩くなっている状態で使用しない** 故障や火災の原因になります。 • **分解や改造はしない** 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 • **強い衝撃を与えない** 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 • **濡れた手で触れない** 感電によるけがの恐れがあります。 • **布などで覆わない** 過熱による火災など事故の原因になります。 • **プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る** 過熱による火災など事故の原因になります。 • **ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない** 変形、故障の原因になります。

⚠ 注意	• **長時間使用しないときは、コンセントから抜く** 省エネルギーにご配慮ください。

	• **足に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない** 故障や事故の原因になります。 • **通電中のAC アダプターに長時間触れない** 低温やけどの原因になることがあります。

使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- ACアダプターを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 本製品の近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- ラジオのアンテナ付近で使用すると、ラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 本製品の近くに磁気に弱いもの（キャッシュカードなど）を置かないでください。磁気の影響を受ける場合があります。
- 本製品は、大理石や白木などデリケートな材質には直接設置しないでください。

Bluetooth製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1.この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2.万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3.その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。
この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。
本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。本製品を総務省の許可なしに改造して使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、次の点に注意してください。

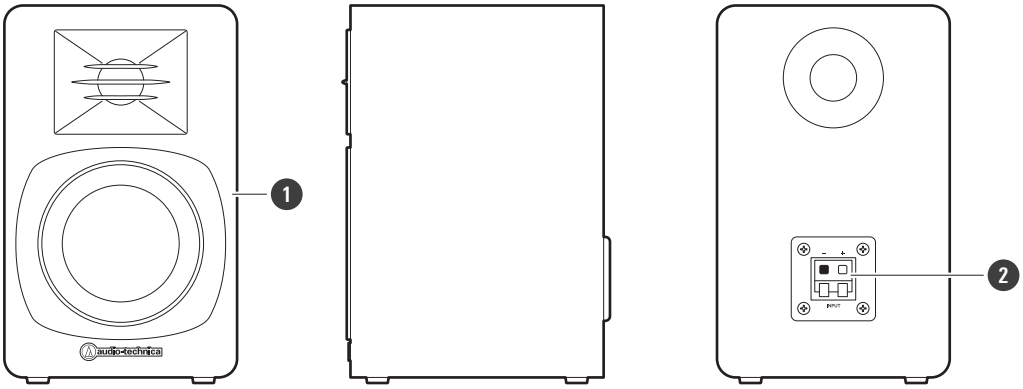
- 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
- 病院内では使用しない。

使用上の注意

本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

各部の名称と機能

スピーカー（L）

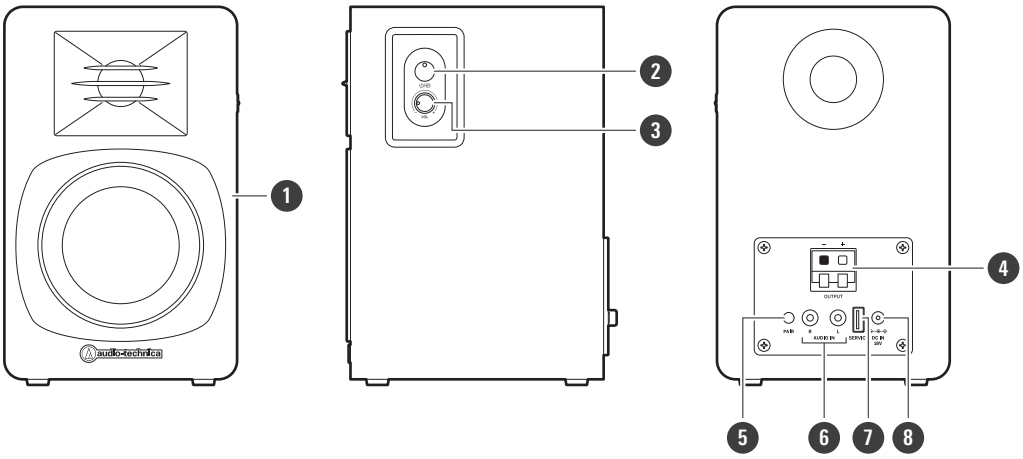


1 スピーカー本体

2 スピーカーケーブル端子

スピーカー同士（L／R）を接続します。

スピーカー（R）



1 スピーカー本体

2 電源ボタン／インジケーターLED

電源をON／OFFします。
本製品のモード（Bluetoothモード／有線モード）やBluetoothの接続状態を確認します。

3 ボリュームノブ

音量を調整します。

4 スピーカーケーブル端子

スピーカー同士（L／R）を接続します。

5 ペアリングボタン

本製品とBluetooth機器を接続する際に使用します。

6 オーディオ入力端子

オーディオケーブルを接続します。赤色端子が右チャンネル、黒色端子が左チャンネルです。

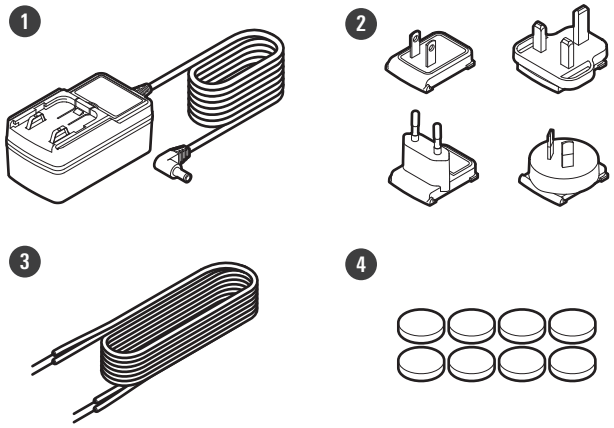
7 USB端子（USB Type-A）

ファームウェアなどの更新時に使用する端子です。通常は使用しません。また、USB充電用ではありません。

8 電源入力端子

ACアダプターを接続します。

付属品



1 ACアダプター

2 ACアダプター交換用プラグ×4

ご利用のコンセントの形状に合わせて、ACアダプターに取り付けます。

3 スピーカーケーブル

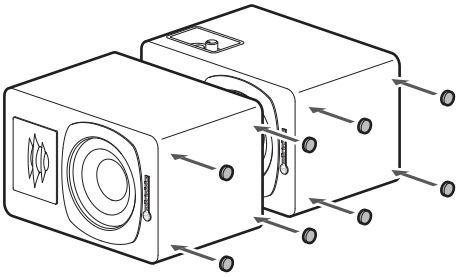
スピーカー同士（L／R）を接続するときに使用します。

4 ゴム脚×8

使用前の準備

ゴム脚を貼り付ける

本製品を設置する前に、スピーカー底面にゴム脚を貼ってください。



スピーカーの設置について

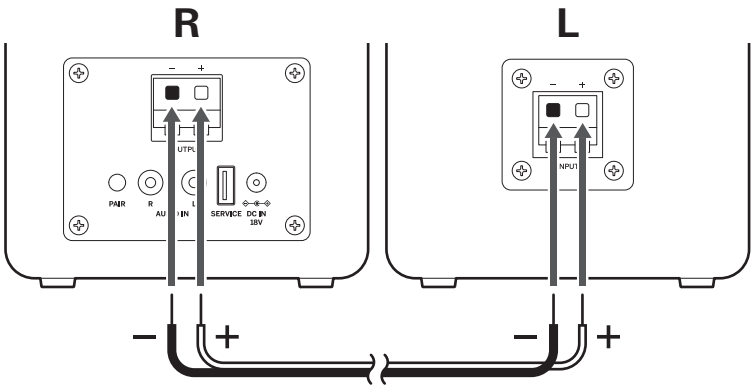
- 本製品を設置するときは、水平な場所に設置してください。
- 本製品の左右を間違えないように設置してください。

スピーカーを接続する

スピーカーケーブルを使用して、スピーカー同士（L／R）を接続します。

1 **スピーカー背面のスピーカーケーブル端子のツメを下げて、スピーカーケーブルを差し込みます。**

- スピーカーケーブル端子の極性（赤色端子がプラス（+）、黒色端子がマイナス（−））を合わせて、スピーカー同士（L／R）を接続します。
- 必ず同じ色のスピーカーケーブル端子同士を接続してください。

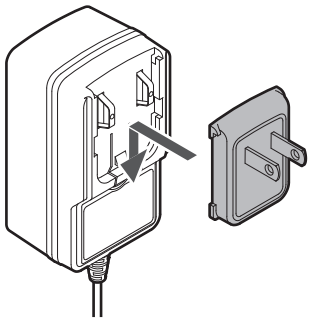


ACアダプター交換用プラグをACアダプターに取り付ける

ご利用のコンセントの形状に合わせて、ACアダプターにACアダプター交換用プラグを取り付けます。

1 ご利用のコンセントに合わせて、プラグを選択します。

2 ACアダプター本体の凹みに、プラグの下側のツメ合わせて、プラグをカチッと音がするまでスライドして、ACアダプターに取り付けます。



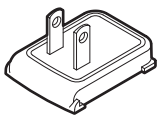
ACアダプター交換用プラグを取り外す

1 PUSHボタンを押しながら、ACアダプター交換用プラグをスライドして取り外します。

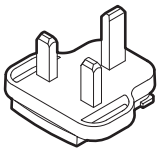
ACアダプター交換用プラグの種類

本製品には4種類のACアダプター交換用プラグ（A／BF／C／Oタイプ）が付属しています。ご利用のコンセントの形状に合わせて、ACアダプターにACアダプター交換用プラグを取り付けてください。

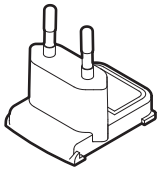
❶



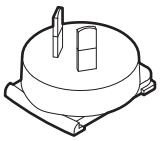
❷



❸



❹

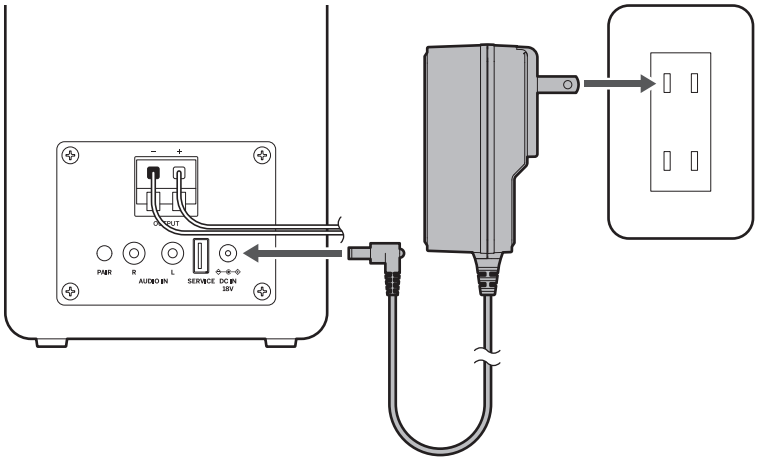


1. Aタイプ
2. BFタイプ
3. Cタイプ
4. Oタイプ

電源ON／OFF

電源をONする

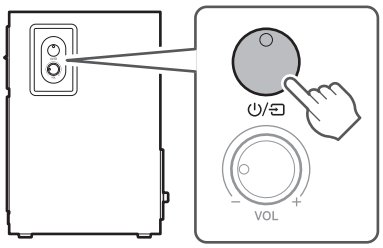
1 電源入力端子にACアダプターのプラグを差し込みます。



2 ACアダプターをコンセントに差し込みます。

» インジケーターLEDが赤色に点灯します。

3 電源ボタンを押します。

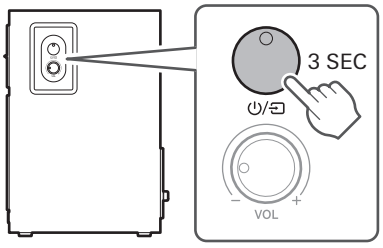


» 電源がONになり、インジケーターLEDが次のように点灯／点滅します。

インジケーターLED	動作状態
緑色点灯	電源ON（有線モード）
青色点灯	電源ON（Bluetoothモード、Bluetooth機器接続中）
青色点滅（速い点滅）	電源ON（Bluetoothモード、Bluetooth機器未接続）
青色点滅（ゆっくり点滅）	電源ON（Bluetoothモード、Bluetooth機器接続待ち）

電源をOFFする

1 電源ボタンを長押し（3秒以上）します。



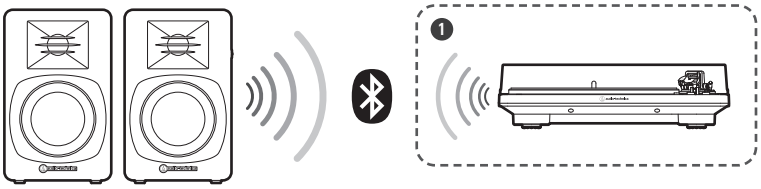
» インジケーターLEDが赤色に点灯します。

ワイヤレス／有線接続について

本製品ではお使いの環境に合わせてBluetoothでワイヤレス接続、またはオーディオケーブルを使用して有線接続することができます。

ワイヤレス接続について

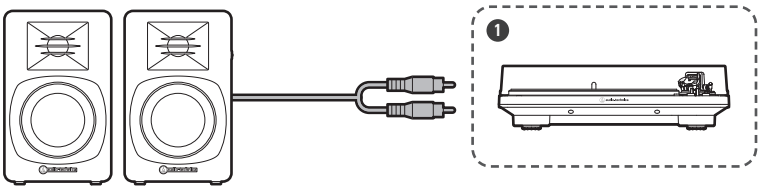
Bluetoothを使用してワイヤレスで接続する場合は、「ワイヤレスで使用する」(p.14)をお読みください。



1 Bluetooth対応ターンテーブル

有線で接続する

オーディオケーブルを使用して有線で接続する場合は、「有線で使用する」(p.17)をお読みください。



1 ターンテーブル

ワイヤレスで使用する

本製品は、Bluetooth接続に対応しています。スマートフォン／タブレットなどのBluetooth機器と接続することができます。

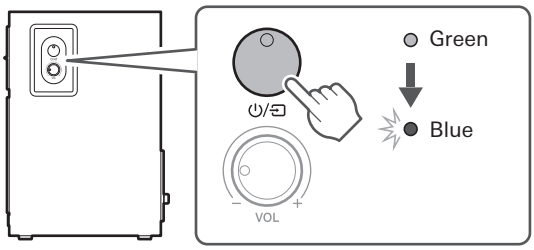
ペアリングのしかた

- Bluetooth機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- Bluetooth機器を本製品から1m以内に置いてペアリングを行ってください。
- 接続するBluetooth機器の動作は保証できませんので、あらかじめご了承ください。

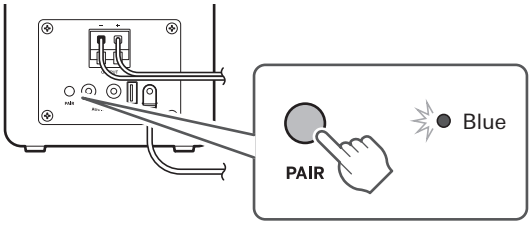
1 **電源ボタンを押して、電源をONにします。**

2 **電源ボタンを押して、Bluetoothモード（インジケーターLEDが青色に点滅）にします。**

- 電源ボタンを押すたびに有線モード（インジケーターLEDが緑色に点灯）とBluetoothモード（インジケーターLEDが青色に点滅）が切り替わります。



3 **ペアリングボタンを押します。**



4 **接続するBluetooth機器でペアリング操作を行い、本製品を検索します。本製品を検索するとBluetooth機器に「AT-SP3X」と表示されます。**

- Bluetooth機器の使いかたは、機器の取扱説明書をお読みください。

5 **「AT-SP3X」を選択し、接続するBluetooth機器に登録します。**

- 機器によっては、パスキーを要求される場合があります。その場合は、「0000」を入力してください。パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードと呼ばれる場合があります。

» インジケーターLEDが青色に点灯します。

ペアリングについて

新たなBluetooth機器を接続する際はペアリングが必要ですが、一度ペアリングしたBluetooth機器とは、再度ペアリングする必要はありません。本製品は履歴を保存できるマルチペアリングに対応しています。ただし、次の場合は、一度ペアリングしたBluetooth機器であっても再度ペアリングが必要です。

- Bluetooth機器の接続履歴から削除された場合
- 本製品を修理に出した場合
- 本製品を初期化した場合
- 本製品からACアダプターを抜いた場合

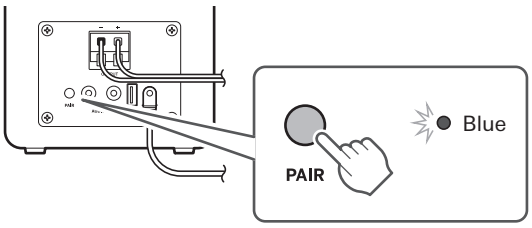
マルチポイントについて

本製品は、2台のBluetooth機器を同時に接続できるマルチポイントに対応しています。すべてのBluetooth機器での組み合わせ、動作を保証するものではありません。

マルチポイント接続のしかた

1 **1台目のBluetooth機器とペアリングを行います。**

2 **ペアリングボタンを押します。**



» **インジケーターLEDが青色に点滅します。**

3 **2台目のBluetooth機器とペアリングを行います。**

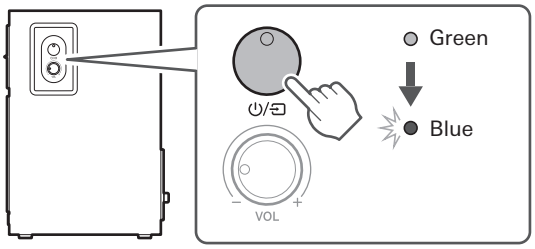
- 接続できない場合は、本製品の電源を入れ直してください。
- マルチポイントで同時接続できるBluetooth機器は2台までです。3台目のBluetooth機器を接続する場合は、接続している2台のうち、どちらか1台との接続を解除してください。
- 2台同時に音楽再生はできません。

音楽を聴く

- Bluetooth機器から音楽を流す前に、本製品の音量が最小になっていることを確認してください。

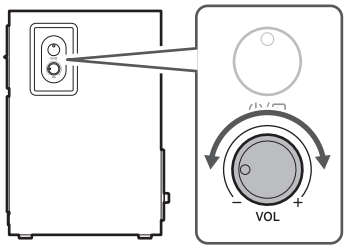
1 **電源ボタンを押してBluetoothモード（インジケーターLEDが青色に点灯）にします。**

- 電源ボタンを押すたびに有線モード（インジケーターLEDが緑色に点灯）とBluetoothモード（インジケーターLEDが青色に点灯）が切り替わります。
- インジケーターLEDが青色の速い点滅しているときは、ペアリングができていない状態です。ペアリングを先に行ってください。



2 **Bluetooth機器から音楽を再生します。**

3 **ボリュームノブを回して音量を調整します。**



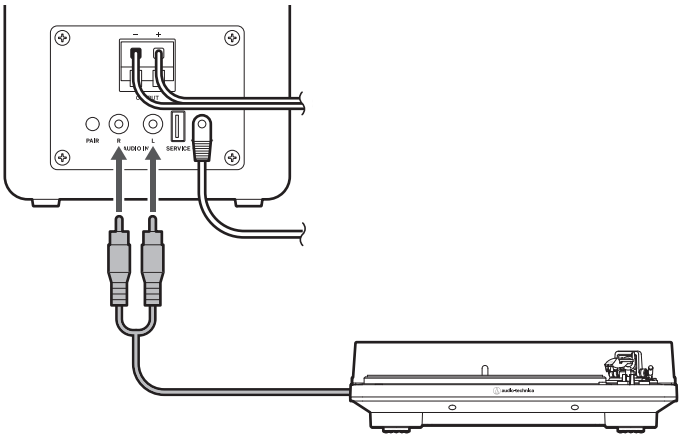
- インジケーターLEDが青色のゆっくり点滅しているときは、本製品がほかのBluetooth機器に接続しようとしており、対象のBluetooth機器が見つからず接続ができていない状態です。接続したいBluetooth機器側のBluetooth機能をONにしてください。別のBluetooth機器を接続したい場合は、再度ペアリングを行ってください。

有線で使用する

ターンテーブルなどのオーディオ機器と、有線で接続することができます。

オーディオ機器との接続

市販のオーディオケーブルを使用して、本製品のオーディオ入力端子にオーディオケーブルを接続してください。接続の際は、オーディオケーブルの端子の色と、オーディオ入力端子の色を合わせて接続してください。

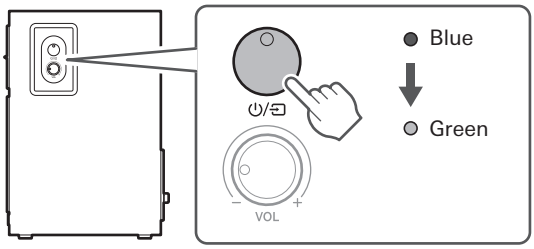


音楽を聴く

- オーディオ機器から音楽を流す前に、本製品の音量が最小になっていることを確認してください。

1 **電源ボタンを押して有線モード（インジケーターLEDが緑色に点灯）にします。**

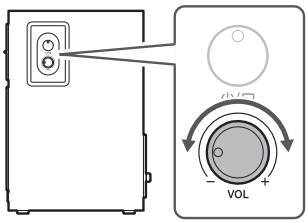
- 電源ボタンを押すたびに有線モード（インジケーターLEDが緑色に点灯）とBluetoothモード（インジケーターLEDが青色に点滅／点灯）が切り替わります。



2 **オーディオ機器から音楽を再生します。**

3 **ボリュームノブを回して音量を調整します。**

有線で使用する



お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- 本体は乾いた布で汚れを拭いてください。
- ケーブルが汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、ケーブルが劣化して固くなり、故障の原因になります。
- ケーブルの端子が汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。

- ドライバーユニットには触らないでください。
- 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。

故障かな？と思ったら

? ペアリングができない（Bluetoothモード）

- Bluetooth機器の通信方式がVer.2.1+EDR以上であることをご確認ください。
- 本製品とBluetooth機器の距離を1m以内に近づけてください。
- Bluetooth機器の本製品とのペアリング情報を削除してから、再度本製品とペアリングしてください。

? 音が出ない／音が小さい（Bluetoothモード）

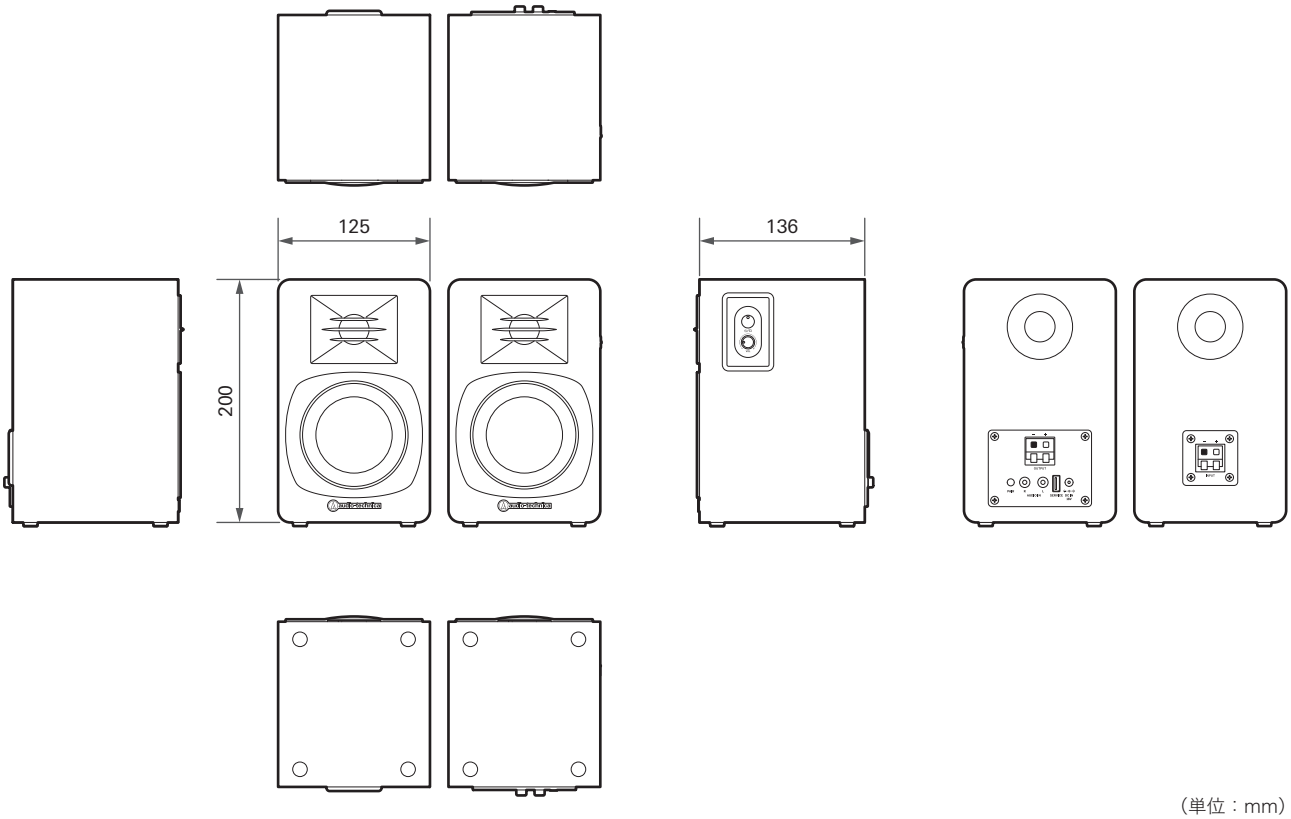
- 本製品とBluetooth機器の電源をONにしてください。
- 本製品とBluetooth機器の音量を大きくしてください。
- 本製品とBluetooth機器の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。

? 音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる（Bluetoothモード）

- 本製品とBluetooth機器の音量を小さくしてください。
- 本製品から電子レンジ、無線LANなど電波を発する機器を離してください。
- 本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。これらの機器に影響を与える場合があります。
- 本製品とBluetooth機器の間に障害物を無くし、距離を近づけてください。

📖
- Bluetooth機器の操作に関しては、機器により操作が異なるため、お持ちのBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

外形寸法図



（単位：mm）

テクニカルデータ

スピーカー部

スピーカーユニット	φ76mm×2
ツイーターユニット	φ27mm×2
再生周波数帯域	55～20,000Hz
最大出力	30W

通信仕様

通信方式	Bluetooth標準規格Ver.5.3準拠
最大RF出力	10mW EIRP
最大通信距離	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯域	2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）
変調方式	GFSK、Pi/4DQPSK、8DPSK
スペクトラム拡散方式	FHSS
対応Bluetoothプロファイル	A2DP
対応コーデック	SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
対応サンプリング周波数	44.1kHz、48kHz
対応ビット数	16 bit、24 bit
伝送帯域	20～20,000Hz

その他

入力端子	アナログオーディオ入力端子（RCAピンプラグ×2）
スピーカーコード長	2.0m
ACアダプターコード長	1.2m
電源	AC100～240V／DC18V（付属のACアダプターを使用）
外形寸法（突起部除く）	200mm×125mm×136mm（H×W×D）
質量	約1.5kg（L側）、約1.6kg（R側）
使用温度範囲	5℃～40℃
付属品	ACアダプター、ACアダプター交換用プラグ×4、スピーカーケーブル（L／R接続用）、ゴム脚×8
交換品（別売）	ACアダプター、ACアダプター交換用プラグ×4、スピーカーケーブル（L／R接続用）、ゴム脚×8

- 改良などのため予告なく変更することがあります。

商標について

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。株式会社オーディオテクニカは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

Audio-Technica Corporation
2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com
©2024 Audio-Technica Corporation
Global Support Contact: www.at-globalsupport.com
351713930-01-02
ver.1 2024.07.01
ver.2 2024.09.01